

〈感想〉：京大での講義に比べ、単位をとることが非常に難しい講義が多かったため、日々の予習復習やグループスタディなどは欠かせなかった。

特に苦心したのが、時折課されるプロジェクト課題である。まずは、自分でパートナーを探し出し、次に、協力して大きな課題を完成させ、最後にプレゼンを授業中にするというハードなものであった。

まず、パートナー探しには頭を悩まされた。受講生がまず考えるのが、「英語が出来て、真面目で、頭に良いパートナーと組みたい」というもの。突然ひょっこり現れた英語の出来ない私が相手にされる訳が無い。最終的には、お互い余っていたガーナ人と組むことになった。しかし、組んでからも難があった。お国柄、彼は時間を守らなかった。集合時間に大幅に遅刻される度、さすがにヤキモキした。最後はお互い親しくはなれたので、今となっては良い思い出である。こういったトラブルを徐々に手ほどきながらの留学生活だった。徐々に友人の数が増大し、次第にパーティーで忙しい生活に変わっていった。英語がめきめき上達していくことが自分でも明らかにわかるほどだった。

胸を張って、実り豊かな留学だったと言える。この経験を十分に生かしていきたい。